

城陽私立大学

I. 事業・活動の概要・成果等

現在は主に熟年層を対象に事業を進めているが、将来は青少年も巻き込んだオープンスクール的に発展することを目指している。

事業内容は「京都学」「城陽学」「芸術論」「自主ゼミ」の4分野で現在進行している。

「フィールドワーク」および「ワークショップ」の手法を用いて事業展開している。

2. 団体の紹介

・団体の紹介メッセージ

平成20年1月から京都府城陽市を中心に活動を開始して今日に至っている。最初は芸術鑑賞、特に生で音楽を鑑賞することを主眼において洋の東西を問わない様々な音楽を城陽市にある文化パルクのプラネタリウムで連続して開催してきた。その後音楽以外の文化的な催し(お茶会やカウントダウンなど)あるいは城陽市に住んでいて何か困ったことあるいは良かったことなど行政の担当者からレクチャーを受け手錠用紙について研究してきた。それらの経験を基に本年度より「城陽私立大学」として活動内容をリニューアルした。

〒610-0115京都府城陽市観音堂東浦127-8

CKミュージックコンサルタント代表河合力

TEL0774-39-4567

Eメール:wr47py@bma.biglobe.ne.jp

ホームページ:ck-music-ip.com

3. 子どもの体験活動における「事業の充実」に向けて大切にしたいこと、今後の改善点など

【スタッフの確保・育成、活動場所】

資金を潤沢に手に入れれば思い通りの展開ができるが常に資金不足で悩んでいる。現状このような文化活動に対しての公金の援助は非常に少ない。活動場所についてはあまり悩んではいない。現状スタッフとなって協力してくれる若年層の人材の確保は非常に難しい。これも資金が潤沢になれば解決できる可能性がでてくる。

【体験活動を通しての次世代の若者の育成】

青少年だけいくら育成してもそれは不十分である。世代間交流なくして次世代の若者は育成できない。熟年の人生経験とキャリア生き様を直接語っていただくことで若年層に何か提言してもらえると思っている。青少年の育成には多くの時間とお金が必要だが常に次世代の育成継承というポリシーを持ち続けて青少年および若年世代を育成に対峙してほしい。